

## 小牧市上下水道事業の令和6年度決算

### 1. 水道事業

#### 1. 1. 概況

表1 過年度の水道事業概況

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
給水人口	人	151,837	150,601	150,106	149,128	148,597
配水量	m³	20,301,628	19,986,426	19,743,255	19,577,527	19,680,695
有収水量	m³	18,862,511	18,588,645	18,285,606	18,001,312	18,013,734
有収率	%	92.91%	93.01%	92.62%	91.95%	91.53%
県水受水量	m³	13,373,190	12,906,730	12,789,770	12,651,470	12,900,380
自己水率	%	34.13%	35.42%	35.22%	35.38%	34.45%
料金収入	千円	2,039,749	2,326,186	1,871,548	2,266,592	2,277,731
供給単価	円/m³	108.14	125.14	102.35	125.91	126.44

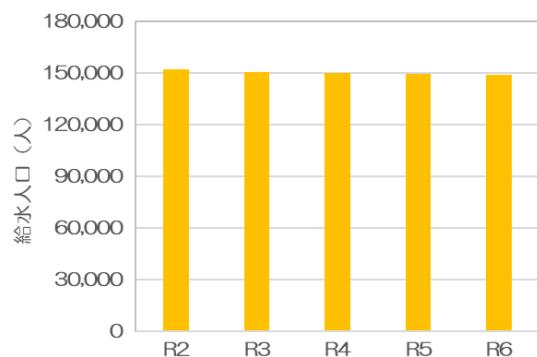


図1 給水人口の過年度推移

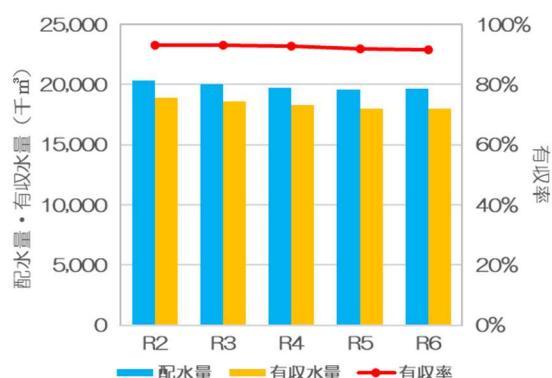


図2 配水量・有収水量・有収率の過年度推移

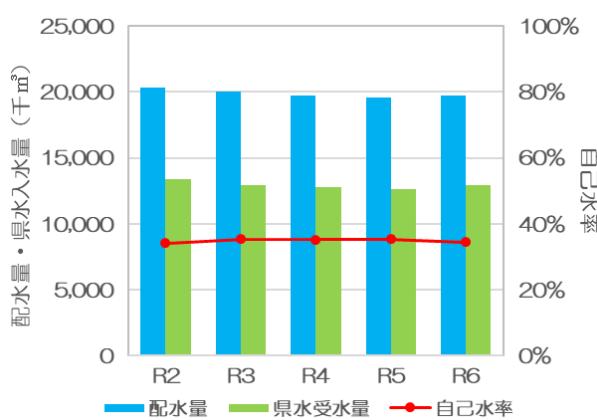


図3 配水量・県水受水量・自己水率の過年度推移

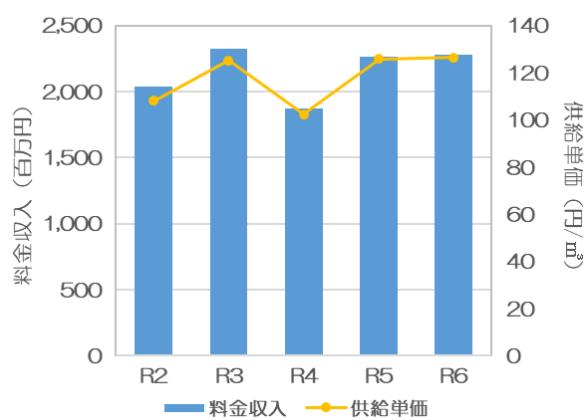


図4 料金収入・供給単価の過年度推移

## 1. 2. 主な事業

### (1) 令和6年度の主要な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <p>➤ 水道週間啓発活動（あいちの水配布等）</p> <p>■その他</p> <p>➤ 小牧市水道水質検査計画に基づく水質検査</p>	<p>□修繕・改築</p> <p>➤ 横内浄水場水質改良施設充填材取替修繕</p> <p>➤ 横内浄水場場内整備工事</p> <p>□耐震化</p> <p>➤ 幹線耐震ループ化計画（ループ管）事業</p> <p>➤ 送水管（横内浄水場～本庄配水池）整備事業</p>

### (2) 配水管の総延長

表2 配水管の総延長

単位：m

R5末総延長	R6整備延長	R6廃止延長	R6末総延長
①	②	③	④=①+②-③
919,405.	6,016	5,387	920,034

### (3) 更新延長、管路経年化率、管路更新率

表3 管路更新に係る指標

	単位	R6	R5	比較
更新延長	m	4,410	4,610	△200
管路経年化率	%	34.00	32.74	1.26
管路更新率	%	0.47	0.50	△0.03



### <送水管整備事業>（事業期間 R2～R12）

横内浄水場と本庄配水池をつなぐ送水管は布設後40年以上が経過し、今後は経年劣化の進行が見込まれることから、延長4,280メートルの耐震化した送水管を新たに整備し、バイパス化します。



### <幹線耐震ループ化計画事業>（事業期間 H21～R8）

震災時でも複数ルートから配水できるよう、耐震化した配水管で骨格を形成するため、ループ管を整備します。R6に工事は完了し、今後は管全体の供用に向け洗管作業を進めます。

図5 水道事業の工事箇所図

## 1. 3. 決算報告

### (1) 収益的収入

表4 収益的収入の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	給水収益 (水道料金収入)	2,277,730,585	2,266,591,555	11,139,030	100.49
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	6,553,120	4,221,980	2,331,140	155.21
	その他の営業収益	152,046,182	169,623,440	△ 17,577,258	89.64
		2,436,329,887	2,440,436,975	△ 4,107,088	99.83
営業外収益	受取利息及び配当金	8,055,963	4,593,657	3,462,306	175.37
	他会計補助金 (一般会計からの補助金収入)	3,074,455	730,000	2,344,455	421.16
	長期前受金戻入	316,443,125	310,190,706	6,252,419	102.02
	雑収益	13,109,012	15,821,134	△ 2,712,122	82.86
		340,682,555	331,335,497	9,347,058	102.82
特別利益	固定資産売却益	0	60,000	△ 60,000	皆減
	過年度損益修正益	161,655	43,453	118,202	372.02
	その他特別利益	0	24,261,595	△ 24,261,595	皆減
		161,655	24,365,048	△ 24,203,393	0.66
合計		2,777,174,097	2,796,137,520	△ 18,963,423	99.32

#### 【増減の大きな項目】

- 給水収益：給水人口は減少したものの、配水量の増加により、約1千1百万円の増加
- その他の営業収益：新加入者分担金、事務所維持管理負担金の減少などにより、約1千8百万円の減少
- その他特別収益：令和5年度の旧横内浄水場の解体に伴う長期前受金戻入がなくなったことにより、約2千4百万円の皆減

収益的収入の合計は、約1千9百万円の減少となりました。

## (2) 収益的支出

表5 収益的支出の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	原水及び浄水費 (原水取水、浄水施設の維持管理)	1,253,546,739	1,183,433,542	70,113,197	105.92
	配水及び給水費 (給配水管路の維持管理)	147,622,834	144,168,968	3,453,866	102.40
	業務費 (開閉栓受付や料金徴収業務)	128,573,249	124,058,912	4,514,337	103.64
	総係費 (総務及び経営管理)	90,438,088	84,387,572	6,050,516	107.17
	減価償却費	944,582,684	905,004,726	39,577,958	104.37
	資産減耗費	47,194,169	35,054,667	12,139,502	134.63
		2,611,957,763	2,476,108,387	135,849,376	105.49
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	14,632,425	18,809,064	△ 4,176,639	77.79
	雑支出	469,629	1,590,443	△ 1,120,814	29.53
		15,102,054	20,399,507	△ 5,297,453	74.03
特別損失	過年度損益修正損	701,140	896,860	△ 195,720	78.18
	その他特別損失	0	164,789,084	△ 164,789,084	皆減
		701,140	165,685,944	△ 164,984,804	0.42
合計		2,627,760,957	2,662,193,838	△ 34,432,881	98.71

### 【増減の大きな項目】

- 原水及び浄水費：修繕費の増加などにより約7千万円の増加
- その他特別損失：令和5年度の旧横内浄水場の解体に伴う委託料、工事請負費および固定資産除却費などがなくなったことにより、約1億6千5百万円の皆減

収益的支出の合計は約3千4百万円の減少となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 2,777,174,097 円 — 収益的支出 2,627,760,957 円

= 純利益 149,413,140 円

### (3) 資本的収入

表6 資本的収入の実績と対前年度比較

		R6	R5	(税込)(単位:円) 対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	負担金 (給配水工事に係る負担金収入)	189,500,510	224,347,135	△ 34,846,625	84.47
	出資金 (一般会計からの出資金収入)	130,000,000	130,000,000	0	100.00
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	23,515,690	20,124,990	3,390,700	116.85
	固定資産売却代金	0	44,000	△ 44,000	皆減
	その他資本的収入	0	200,000,000	△ 200,000,000	皆減
		343,016,200	574,516,125	△ 231,499,925	59.71

#### 【増減の大きな項目】

- 負担金：給配水工事負担金の減などにより、約3千5百万円の減少
- その他資本的収入：令和5年度の投資有価証券の満期償還がなくなったことにより、2億円の皆減

資本的収入の合計は約2億3千万円の減少となりました。

## (4) 資本的支出

表7 資本的支出の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,786,057,756	1,810,609,746	△ 24,551,990	98.64
	拡張費 (基幹管路の整備、複線化事業)	640,897,892	986,766,377	△ 345,868,485	64.95
	建設改良費 (老朽管路・施設の更新事業)	1,137,597,144	819,220,009	318,377,135	138.86
	固定資産購入費	7,562,720	4,623,360	2,939,360	163.58
	企業債償還金	158,086,389	174,235,388	△ 16,148,999	90.73
	投資	100,000,000	100,000,000	0	100.00
		2,044,144,145	2,084,845,134	△ 40,700,989	98.05

### 【増減の大きな項目】

- 拡張費：基幹管路整備事業の減などにより約3億4千6百万円の減少
- 建設改良費：横内浄水場更場内整備工事などにより約3億1千8百万円の増加

資本的支出の合計は約4千1百万円の減少となりました。

### 【キャッシュ・フロー計算書】

#### ①業務活動によるキャッシュ・フロー：業務 CF

当年度純利益や減価償却費などの増加額と長期前受金戻入や利息支払などの減少額により算出

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー：投資 CF

有形固定資産の取得による支出と一般会計からの工事負担金等による収入により算出

#### ③財政活動によるキャッシュ・フロー：財政 CF

企業債償還による支出と出資金による収入により算出

#### 資金期末残高

$$= \text{資金期首残高} + (\text{①業務 CF} + \text{②投資 CF} + \text{③財政 CF})$$

$$= \underline{3,876,485,619} \text{ 円} + (\underline{1,097,596,927} \text{ 円} + \triangle \underline{2,033,655,459} \text{ 円} + \triangle \underline{28,086,389} \text{ 円})$$

$$= \underline{2,912,340,698} \text{ 円} (\underline{964,144,921} \text{ 円の} \textcolor{blue}{減少})$$

## (5) 貸借対照表

表8 貸借対照表の概要

			R7.3.31	R6.3.31	単位：千円 増減額
資産の部	固定資産	有形固定資産	24,027,410	23,208,369	819,041
		無形固定資産	8,150	11,463	△ 3,313
		投資その他資産	300,000	200,000	100,000
			24,335,560	23,419,832	915,728
	流動資産	現金預金	2,912,341	3,876,486	△ 964,145
		未収金・貸倒引当金	369,868	371,065	△ 1,197
		貯蔵品	22,801	22,948	△ 147
		前払金	0	280,300	△ 280,300
			3,305,010	4,550,799	△ 1,245,789
			27,640,570	27,970,631	△ 330,061
負債の部	固定負債	企業債	458,511	597,703	△ 139,192
		引当金	0	11,081	△ 11,081
			458,511	608,784	△ 150,273
	流動負債	企業債	139,192	158,086	△ 18,894
		未払金	600,958	921,901	△ 320,943
		前受金	780	940	△ 160
		引当金	18,315	16,813	1,502
		その他流動負債	100,666	108,803	△ 8,137
			859,911	1,206,543	△ 346,632
	繰延収益	長期前受金	18,824,308	18,681,949	142,359
		収益化累計額	△ 12,318,623	△ 12,061,603	△ 257,020
		建設仮勘定長期前受金	11,820	9,727	2,093
負債資本	資本の部		6,517,505	6,630,073	△ 112,568
			7,835,927	8,445,400	△ 609,473
		資本金	16,389,084	15,925,584	463,500
		資本剰余金	2,766,553	2,766,553	0
		利益剰余金	649,006	833,094	△ 184,088
			3,415,559	3,599,647	△ 184,088
			19,804,643	19,525,231	279,412
			27,640,570	27,970,631	△ 330,061

### 【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) × 100  
(総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) × 100  
(長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100  
(短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので 200%以上が望ましい)

表9 主な分析指標の過年度推移

	R2	R3	R4	R5	R6	単位：%
自己資本構成比率	93.4	94.1	89.9	93.5	95.2	
固定資産対長期資本比率	79.5	79.8	85.5	87.5	90.9	
流動比率	965.7	941.7	278.5	377.2	384.3	

## 1. 4. ビジョン・経営戦略の進捗（基本目標）

### （1）基本目標1 【安全】「安全・安心な水道」の指標

水質基準不適合率、自己保有水源率は共に目標を達成しました。

指標番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R4(2022)
一	水質基準不適合率	(%)	0	0	0	0	0	0を維持	—
B101	自己保有水源率	(%)	28	29	29	29	28	28以上	21.3

### （2）基本目標2 【強靭】「災害に強く安定した水道」の指標

令和11年度の目標を目指して整備を進めていますが、管路の更新率が目標値を下回っています。

指標番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R3(2021)
B602	浄水施設の耐震化率	(%)	92.7	92.7	92.7	92.7	92.7	97.2	54.6
B504	管路の更新率	(%)	0.59	0.55	0.39	0.50	0.47	1.0以上	0.79
B605	管路の耐震管率	(%)	23.9	24.6	25.1	25.8	26.4	34.5以上	21.3
一	ループ管の整備率	(%)	94.8	95.9	96.4	98.3	100	100	—
一	重要給水施設への管路整備率	(%)	74.5	76.6	76.6	79.9	75.2	100	—
一	送水管（横内浄水場～本庄配水池）の整備率	(%)	0	7.2	7.2	23.2	35.1	100	—

### （3）基本目標3 【持続】「次世代へつなぐ持続可能な水道」の指標

経常収支比率は目標である100%以上を達成しました。

指標番号	指標名	単位	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R3(2021)
C102	経常収支比率	(%)	115.4	116.4	111.9	111.0	105.7	100以上	112.1

※指標番号は水道事業ガイドライン（P1）の番号です。「一」の指標は本市が独自に定めた指標です。

※令和6年度の指標が緑色になっているのは、目標値を達成しているものです。

## 1. 5. ビジョン・経営戦略の進捗（経営目標）

### (1) 単年度純利益の継続

令和6年度は収益的収支において、黒字を維持しました。

表 10 収益的収支及び純損益の過年度推移

	(税抜)(単位：千円)				
	R2	R3	R4	R5	R6
収益的収入	2,859,922	2,821,511	2,795,470	2,796,137	2,777,174
収益的支出	2,479,967	2,423,034	2,521,685	2,662,193	2,627,761
純損益	379,955	398,477	273,785	133,944	149,413

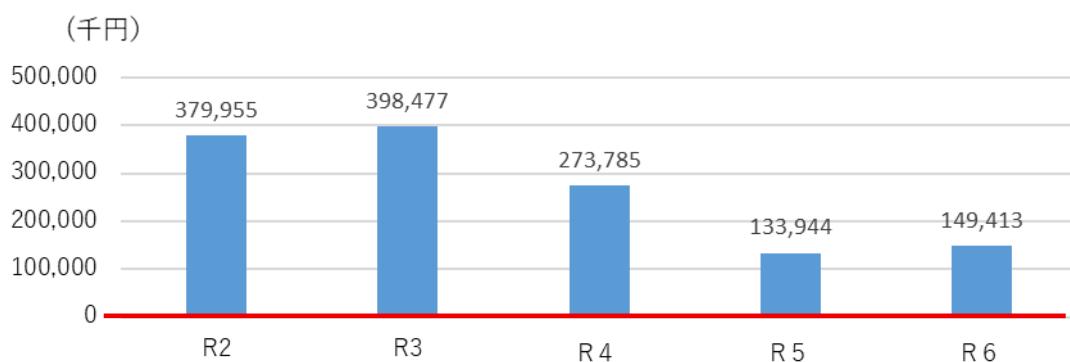


図6 純損益の過年度推移

### (2) 適正料金の確保（料金回収率 100%以上の維持）

令和6年度の料金回収率は100%を下回りました。

表 11 料金回収率の過年度推移

	単位：%				
	R2	R3	R4	R5	R6
料金回収率	94.73	110.51	85.74	103.67	98.57

※料金回収率 = 供給単価 ÷ 給水原価 × 100

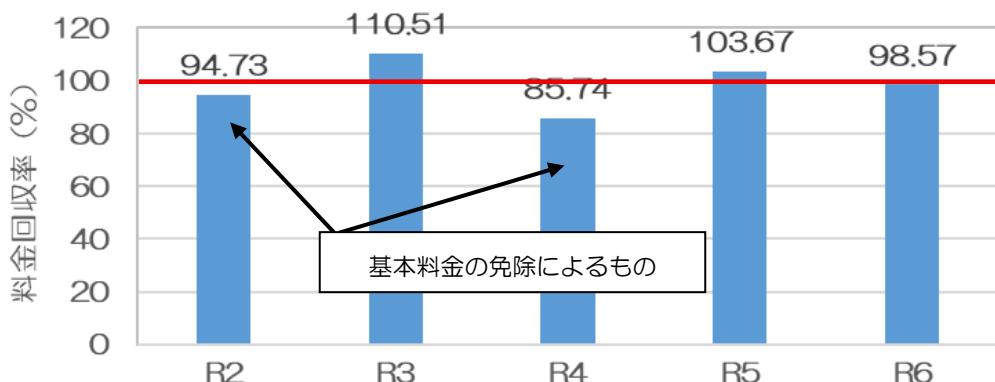


図7 料金回収率の過年度推移

### (3) 内部留保資金の確保（20億円以上）

令和6年度末の資金期末残高は20億円以上を確保しましたが、急激に減少しており、対策が必要です。

表12 資金期末残高の過年度推移

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
資金期末高	億円	55.36	54.09	48.67	38.76	29.12
年度内増減額	億円	△0.56	△1.27	△5.42	△9.91	△9.64
前年度末比	%	99.00	97.71	89.98	79.64	75.13

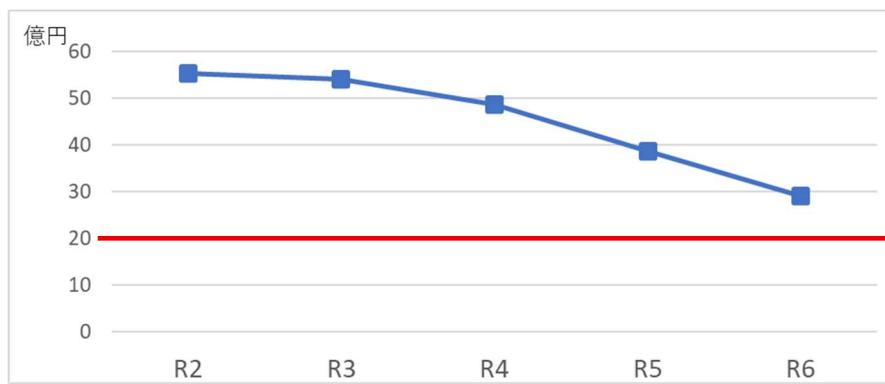


図8 資金期末残高の過年度推移

### (4) 老朽管の更新（耐震化：平均更新率 1.0%以上）

令和6年度末の目標である1.0%を下回りました。

表13 管路更新率の過年度推移

	R2	R3	R4	R5	R6
管路更新率	0.59%	0.55%	0.39%	0.50%	0.47%

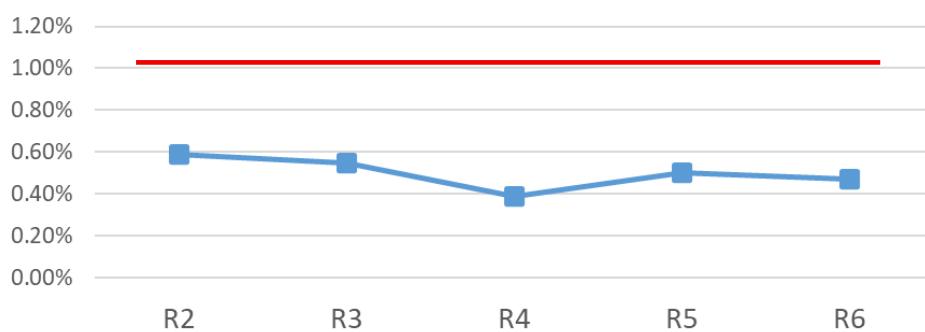


図9 管路更新率の過年度推移

## 1. 6. その他の指標

### (1) 企業債

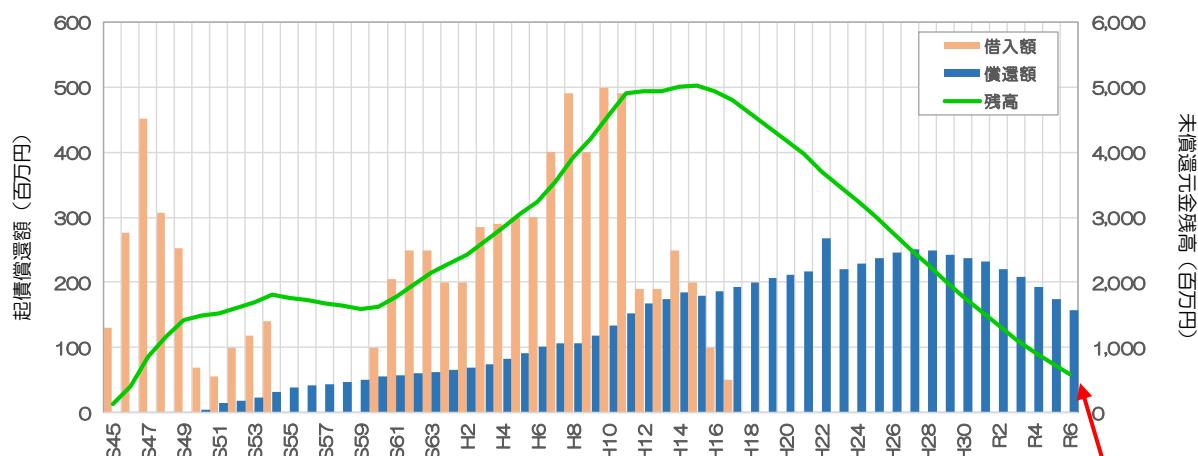


図 10 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R6 未残高：6億円

## 2. 下水道事業

### 2. 1. 概況

#### (1) 公共下水道事業

表 14 過年度の下水道事業概況（公共下水道事業）

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
水洗化人口	人	108,508	108,338	108,259	107,986	108,162
処理水量	m³	16,906,445	16,766,054	16,422,917	16,369,113	16,472,093
有収水量	m³	13,228,581	13,082,544	12,883,230	12,767,095	12,837,148
有収率	%	78.25	78.03	78.45	78.00	77.93
使用料収入	千円	1,174,779	1,162,388	1,151,902	1,140,790	1,152,835
使用料単価	円/m³	88.81	88.85	89.41	89.35	89.80

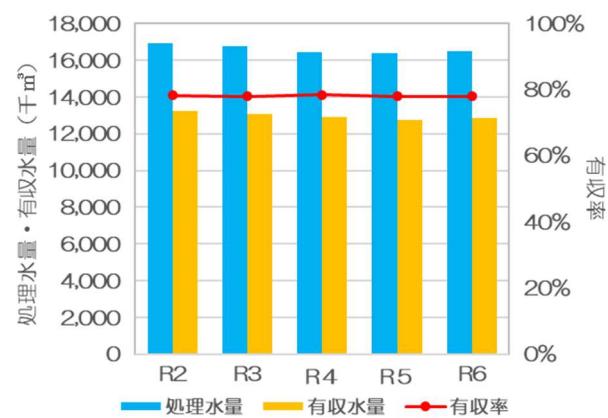
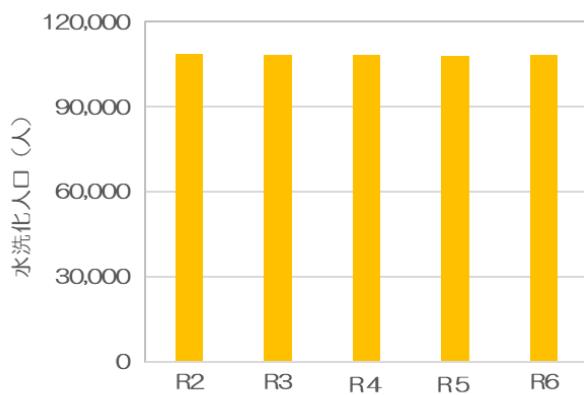


図 11 水洗化人口の過年度推移

図 12 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

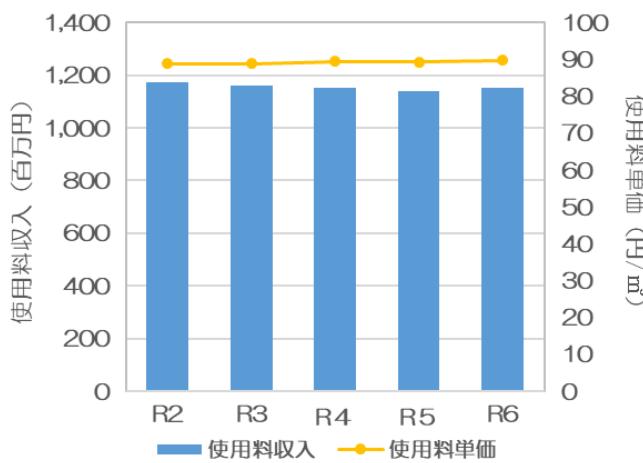


図 13 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## (2) 農業集落排水事業

表 15 過年度の下水道事業概況（農業集落排水事業）

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
水洗化人口	人	1,084	1,097	1,075	1,071	1,047
処理水量	m³	160,585	156,706	159,624	147,375	155,444
有収水量	m³	114,617	113,903	111,097	109,701	108,850
有収率	%	71.37	72.69	69.60	74.44	70.03
使用料収入	千円	9,140	9,122	8,928	8,846	8,827
使用料単価	円/m³	79.74	80.09	80.36	80.64	81.09

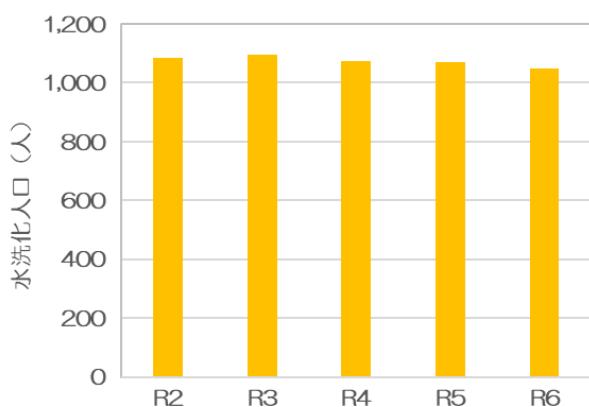


図 14 水洗化人口の過年度推移

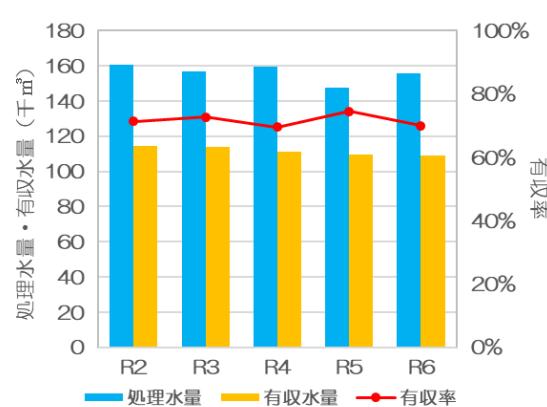


図 15 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

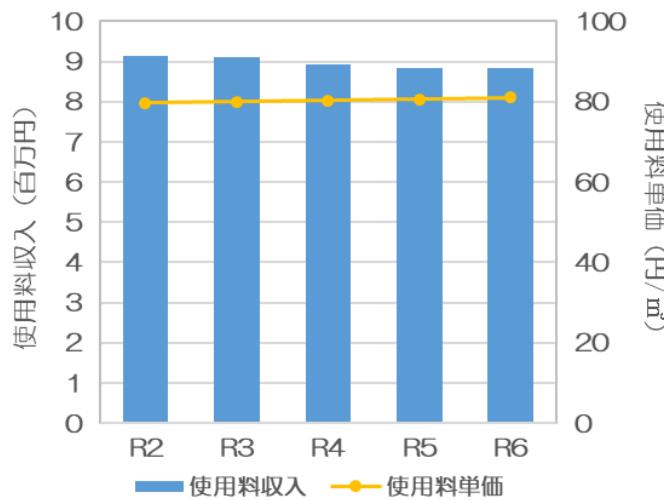


図 16 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## 2. 2. 主な事業

### (1) 令和6年度の主要な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ウォーキングアプリ alko を利用した下水道の日チャレンジ企画</li> <li>➢ 啓発用トイレットペーパー設置</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ マンホール点検業務の共同発注 (小牧市、北名古屋市、清須市、豊山町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□未普及解消</li> <li>➢ 間々原・村中地区、横内地区、久保一色地区、池之内地区、東一丁目地区での汚水幹枝線の新設</li> <li>□改築・更新</li> <li>➢ 桃花台汚水中継ポンプ場改築更新詳細設計(機械・電気・建築・土木・水処理設備)</li> <li>➢ 公共下水道事業の管更生</li> <li>➢ 農業集落排水事業の管更生</li> </ul>

### (2) 下水道管渠の総延長

表 16 下水道管渠の総延長

単位 : m

	R5末総延長	R6整備延長	R6廃止延長	R6末総延長
	①	②	③	④=①+②-③
公共下水道事業	718,527	3,289	20	721,796
農業集落排水事業	18,302	0	0	18,302
合 計	736,829	3,289	20	740,098

### (3) 管更生、管渠老朽化率、管渠改善率

表 17 管更生に係る指標

		単位	R6	R5	比較
管更生	公共下水道事業	m	285	465	△180
	農業集落排水事業	m	867	1,122	△255
	合 計	m	1,152	1,587	△435
管渠老朽化率		%	2.91	2.73	0.18
管渠改善率		%	0.16	0.22	△0.06

#### (4) 供用開始区域の推移

表 18 供用開始区域の推移

		R2	R3	R4	R5	R6
供用開始面積 (ha)	公共下水道事業	2,282	2,313	2,319	2,359	2,385
	農業集落排水事業	69	69	69	69	69
供用開始人口 (人)		2,351	2,382	2,388	2,428	2,454
	公共下水道事業	117,638	117,206	116,992	116,834	117,329
人口普及率 (%)	農業集落排水事業	1,216	1,222	1,189	1,182	1,142
		118,854	118,428	118,181	118,016	118,471
人口普及率 (%)	公共下水道事業	77.43	77.78	77.90	78.30	78.92
	農業集落排水事業	0.80	0.81	0.79	0.79	0.77
		78.23	78.59	78.69	79.10	79.69

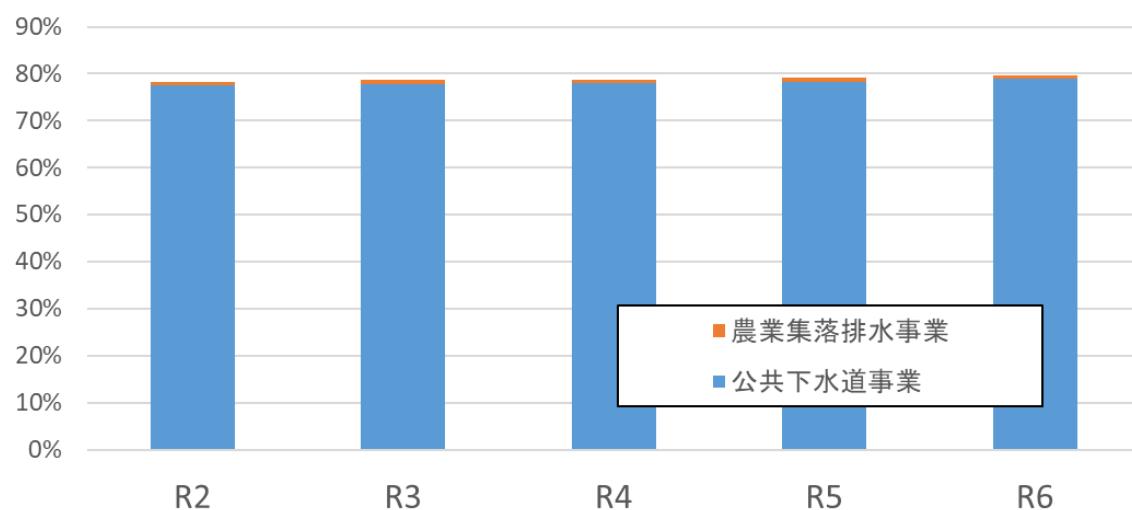


図 17 人口普及率の過年度推移

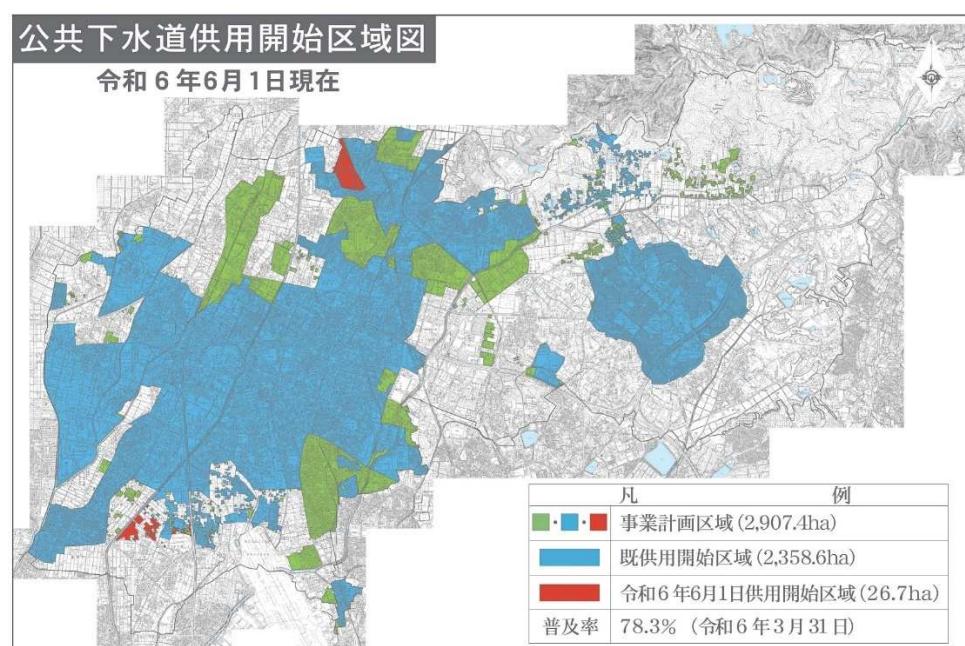


図 18 公共下水道供用開始区域図

## 2. 3. 決算報告

### (1) 収益的収入

表 19 収益的収入の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	下水道収益 (下水道使用料収入)	1,161,661,708	1,149,635,791	12,025,917	101.05
	他会計負担金 (雨水処理にかかる一般会計繰入金)	78,474,271	65,972,984	12,501,287	118.95
	その他の営業収益	8,745,800	5,104,100	3,641,700	171.35
		1,248,881,779	1,220,712,875	28,168,904	102.31
営業外収益	受取利息及び配当金	209,485	4,483	205,002	4,672.88
	他会計負担金 (汚水処理等にかかる一般会計繰入金)	264,570,220	317,852,318	△ 53,282,098	83.24
	他会計補助金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	380,176,742	304,490,767	75,685,975	124.86
	長期前受金戻入	1,125,881,735	1,104,979,078	20,902,657	101.89
	雑収益	262,753	170,724	92,029	153.91
		1,771,100,935	1,727,497,370	43,603,565	102.52
特別利益	過年度損益修正益	285,996	266,047	19,949	107.50
	その他特別利益	1,098,338	13,359	1,084,979	8,221.71
		1,384,334	279,406	1,104,928	495.46
合計		3,021,367,048	2,948,489,651	72,877,397	102.47

#### 【増減の大きな項目】

- 他会計負担金：収益的支出のうち汚水処理費の減少などにより約5千4百万円の減少。
- 他会計補助金：収益的支出のうちその他特別損失の増加などにより約7千6百万円の増加。

収益的収入の合計は7千3百万円の増加となりました。

## (2) 収益的支出

表 20 収益的支出の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	汚水管渠費	169,314,403	199,235,353	△ 29,920,950	84.98
	汚水ポンプ場費	25,178,562	25,788,629	△ 610,067	97.63
	流域下水道維持管理負担金	826,946,815	824,657,026	2,289,789	100.28
	雨水施設費	26,460,639	15,861,493	10,599,146	166.82
	農業集落排水施設費	32,279,329	31,644,702	634,627	102.01
	業務費 (接続受付や負担金徴収業務)	87,747,874	88,732,777	△ 984,903	98.89
	総係費 (総務及び経営管理)	71,770,532	78,020,793	△ 6,250,261	91.99
	減価償却費	1,534,219,192	1,521,477,476	12,741,716	100.84
	資産減耗費	7,626,691	6,666,790	959,901	114.40
		2,781,544,037	2,792,085,039	△ 10,541,002	99.62
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	114,098,211	122,852,937	△ 8,754,726	92.87
	雑支出	14,471,699	2,632,976	11,838,723	549.63
		128,569,910	125,485,913	3,083,997	102.46
特別損失	過年度損益修正損	397,101	448,699	△ 51,598	88.50
	その他特別損失	110,856,000	30,470,000	80,386,000	363.82
		111,253,101	30,918,699	80,334,402	359.82
合計		3,021,367,048	2,948,489,651	72,877,397	102.47

### 【増減の大きな項目】

- 汚水管渠費：管路調査委託料の減少などにより約3千万円の減少
- 雨水施設費：雨水ポンプ場修繕費の増加などにより約1千1百万円の増加
- その他特別損失：道路維持補修工事により約8千万円の増加

収益的支出の合計は約7千3百万円の増加となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 3,021,367,048 円 — 収益的支出 3,021,367,048 円

= 純損益 0 円

### (3) 資本的収入

表 21 資本的収入の実績と対前年度比較

		R6	R5	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	企業債	379,800,000	330,500,000	49,300,000	114.92
	負担金 (受益者負担金など)	121,137,200	139,649,420	△ 18,512,220	86.74
	出資金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	537,016,402	576,559,674	△ 39,543,272	93.14
	他会計負担金 (雨水施設整備などにかかる一般会計繰入金)	67,825,415	129,391,272	△ 61,565,857	52.42
	補助金 (国庫補助金)	227,554,000	210,050,000	17,504,000	108.33
		1,333,333,017	1,386,150,366	△ 52,817,349	96.19

#### 【増減の大きな項目】

- 企業債：汚水管整備工事の増加などにより約4千9百万円の増加
- 他会計負担金：当該年度契約の雨水施設工事の減少により約6千百万円の減少

資本的収入の合計は約5千3百万円の減少となりました。

## (4) 資本的支出

表 22 資本的支出の実績と対前年度比較

		R6	R5	(税込)(単位:円) 対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,430,543,723	1,115,391,865	315,151,858	128.25
	汚水管渠建設改良費	960,352,754	718,284,611	242,068,143	133.70
	汚水ポンプ場建設改良費	35,560,000	31,589,000	3,971,000	112.57
	流域下水道建設負担金	70,588,606	96,135,747	△ 25,547,141	73.43
	雨水施設建設改良費	267,322,663	166,296,007	101,026,656	160.75
	農業集落排水施設建設改良費	96,719,700	103,086,500	△ 6,366,800	93.82
	企業債償還金	605,592,381	619,438,884	△ 13,846,503	97.76
		2,036,136,104	1,734,830,749	301,305,355	117.37

### 【増減の大きな項目】

- 汚水管渠建設改良費：汚水管整備工事費の増加などにより約2億4百万円の増加
- 雨水施設建設改良費：前年度から繰越した雨水施設工事の完了により約1億1百万円の増加

資本的支出の合計は約3億1百万円の増加となりました。

### 【キャッシュフロー計算書】（計算式は水道事業 アページ参照）

#### 資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + (\text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF}) \\
 &= \underline{955,141,757} \text{円} + (\underline{302,963,595} \text{円} + \underline{\Delta 936,103,581} \text{円} + \underline{311,224,021} \text{円}) \\
 &= \underline{633,225,792} \text{円} \text{ (321,915,965円の減少)}
 \end{aligned}$$

## (5) 貸借対照表

表 23 貸借対照表の概要

			R7.3.31	R6.3.31	単位：千円 増減額
資産の部	固定資産	有形固定資産	36,565,920	36,665,023	△ 99,103
		無形固定資産	2,633,974	2,695,765	△ 61,791
		投資その他資産	1,696	1,696	0
			39,201,590	39,362,484	△ 160,894
	流動資産	現金預金	633,226	955,142	△ 321,916
		未収金・貸倒引当金	285,234	266,737	18,497
		前払金	0	152,200	△ 152,200
			918,460	1,374,079	△ 455,619
			40,120,050	40,736,563	△ 616,513
負債資本	負債の部	固定負債	企業債	6,791,917	6,985,429
			6,791,917	6,985,429	△ 193,512
		流動負債	企業債	573,312	605,591
			未払金	456,887	558,527
			前受金	54,440	135,000
	繰延収益		引当金	13,024	12,295
			その他流動負債	116,117	180,257
				1,213,780	1,491,670
					△ 277,890
			長期前受金	24,196,475	23,720,413
	資本の部		収益化累計額	△ 6,594,385	△ 5,472,994
			建設仮勘定長期前受金	133,868	170,666
				17,735,958	18,418,085
				25,741,655	26,895,184
		資本金		14,010,482	13,473,465
		資本剰余金		367,913	367,913
		利益剰余金		0	0
				367,913	367,913
				14,378,395	13,841,378
				40,120,050	40,736,562
					△ 616,512

### 【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) × 100

(総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) × 100

(長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

(短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので200%以上が望ましい)

表 24 主な分析指標の過年度推移

	R2	R3	R4	R5	R6	単位：%
自己資本構成比率	78.2	78.9	79.2	79.2	80.1	
固定資産対長期資本比率	101.0	100.8	100.6	100.3	100.8	
流動比率	65.8	72.2	78.9	92.1	75.7	

## 2. 4. 長期経営計画の進捗

### (1) 全体計画の達成率

令和24年度の概成に向けて整備を進めました。

表 25 長期経営計画の進捗

単位：%

	R2	R3	R4	R5	R6	R13目標	R24目標
全体計画の達成率	61.43	62.26	62.43	63.50	64.20	90	100
(全体計画変更後の達成率)	(70.31)	(71.26)	(71.46)	(72.68)	(73.48)	/	/

※全体計画の達成率＝供用開始面積÷全体計画面積

※全体計画変更手続きの途中のため、全体計画変更後の達成率見込みを括弧内に記載

### (2) 一般会計繰入金

9億円を超える基準外繰入金がありますが、令和7年度から使用料改定により減少する見込みです。

表 26 一般会計繰入金の過年度推移

単位：千円

	R2	R3	R4	R5	R6
3条繰入金	415,857	582,839	564,835	688,316	723,222
基準内	294,860	281,691	274,723	383,825	343,045
基準外	120,997	301,148	290,112	304,491	380,177
4条繰入金	694,184	590,407	686,016	705,951	604,841
基準内	77,337	122,068	76,881	129,391	67,825
基準外	616,847	468,339	609,135	576,560	537,016
合計	1,110,041	1,173,246	1,250,851	1,394,267	1,328,063
基準内	372,197	403,759	351,604	513,216	410,870
基準外	737,844	769,487	899,247	881,051	917,193

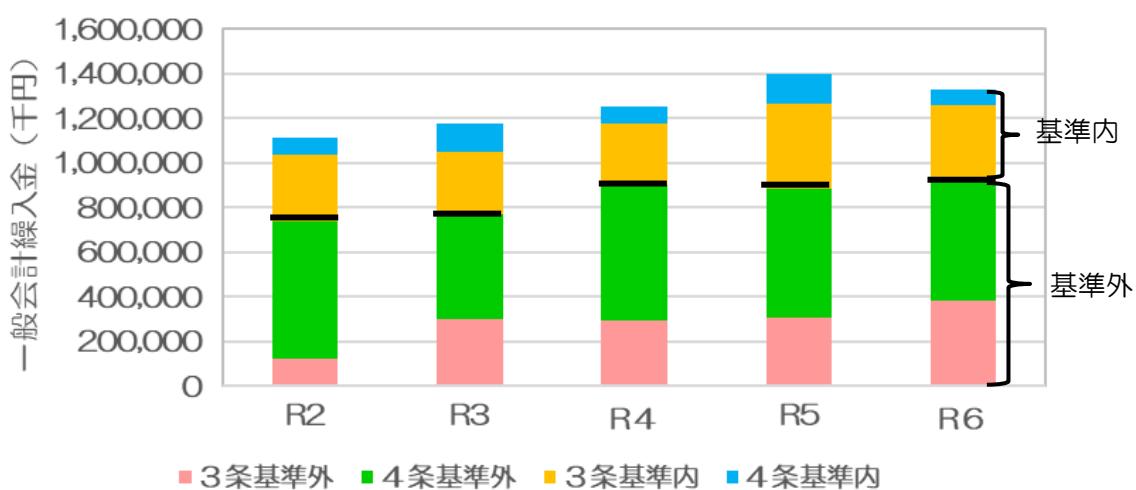


図 19 一般会計繰入金の過年度推移

### (3) 経費回収率

令和6年度の経費回収率は59.3%ですが、使用料改定により100%を目指します。

表27 経費回収率の進捗

		単位	R2	R3	R4	R5	R6	R13目標	R33目標
公共下水道	使用料単価	円/m <sup>3</sup>	88.8	88.9	89.4	89.4	89.8	—	—
	汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	—	—
	経費回収率	%	59.2	59.2	59.6	59.6	59.9	100.0	100.0
農業集落排水	使用料単価	円/m <sup>3</sup>	79.7	80.1	80.4	80.6	81.1	—	—
	汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	249.0	268.6	378.7	300.3	304.2	—	—
	経費回収率	%	32.0	29.8	21.2	26.9	26.7	100.0	100.0
合計	使用料単価	円/m <sup>3</sup>	88.7	88.8	89.3	89.3	89.7	—	—
	汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	150.9	151.0	152.0	151.3	151.3	—	—
	経費回収率	%	58.8	58.8	58.8	59.0	59.3	100.0	100.0

※経費回収率=使用料単価÷汚水処理原価×100

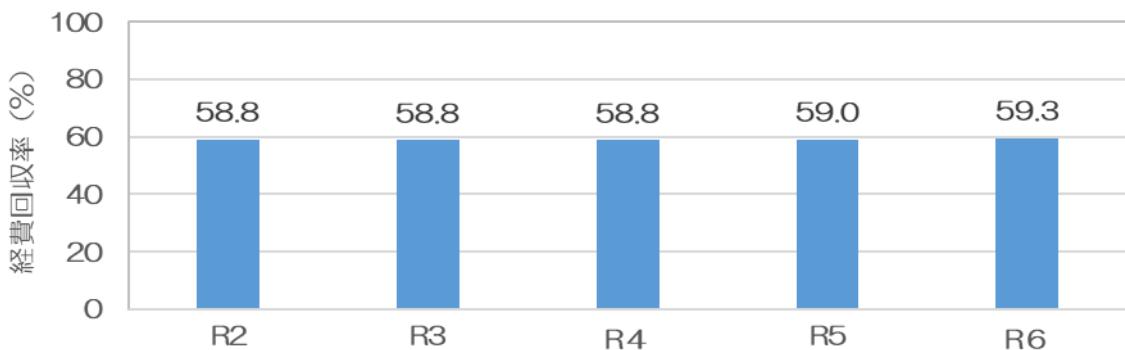


図20 経費回収率（合計）の過年度推移

## 2. 5. その他の経営指標

### (1) 経常収支比率

表 28 経常収支比率の過年度推移

	R2	R3	R4	R5	R6	単位：%
経常収支比率	93.93	100.19	99.74	101.05	103.78	

※経常収支比率＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

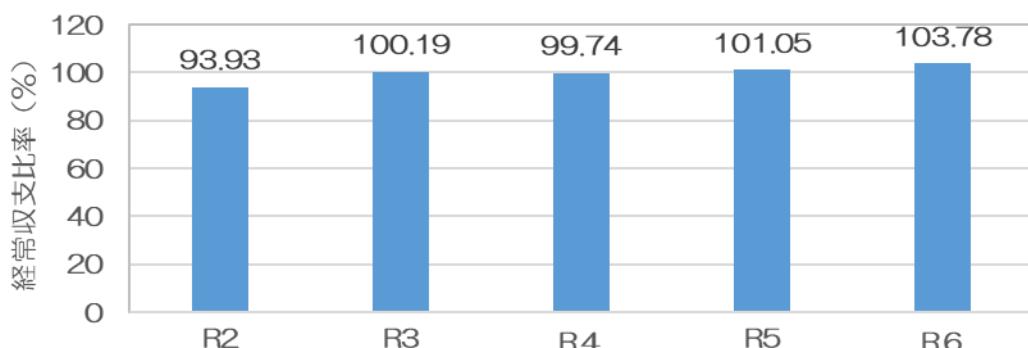


図 21 経常収支比率の過年度推移

### (2) 企業債

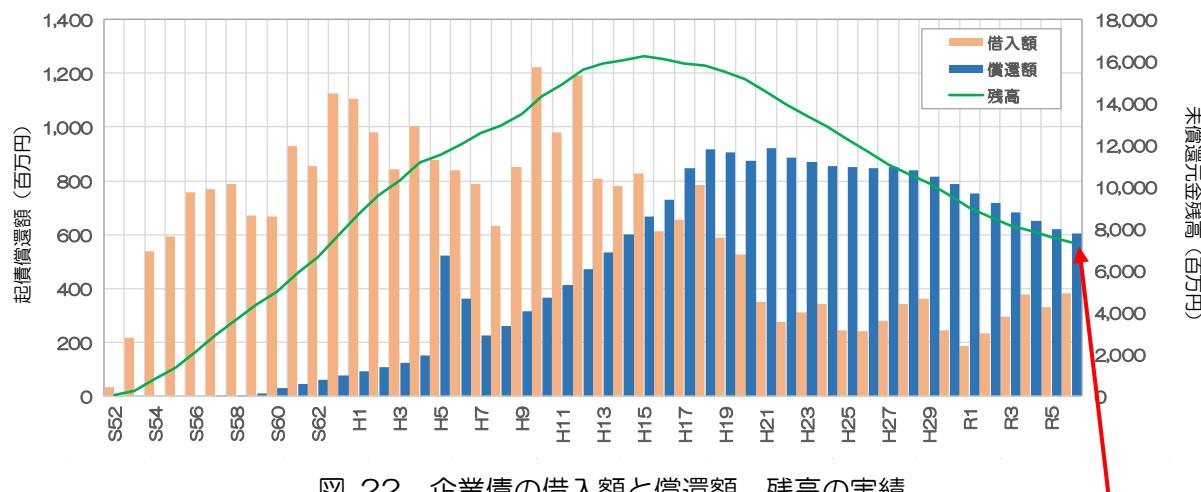


図 22 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R6末残高：73億7千万円

## 2. 6. 社会資本総合整備計画の進捗

社会資本総合整備計画とは、国土交通省の補助金を要望活用して事業を実施する時に作成する計画で、目標指標により補助金の有効活用を確認するものです。

### (1) 小牧市における良好な水環境の形成（重点計画）

対象事業：汚水管新設事業

計画期間：令和3年度～令和7年度

進捗状況：一部の地域の整備が遅れており令和7年度末の目標達成は難しい状況ですが、令和8年度末には目標は達成できる見込みです。

	事業費・目標指標	現況(R6末)	計画事業費・目標値	
			中間(R5末)	最終(R7末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	906百万円	—	1,286百万円
2	下水道処理人口普及率	78.92%	79%	81%

※事業費は令和6年度への繰越分176百万円を除いた額

### (2) 小牧市における良好な水環境の形成と浸水対策による被害の軽減（防災・安全）

対象事業：①ストックマネジメント計画策定

②桃花台汚水中継ポンプ場改修工事

計画期間：令和2年度～令和6年度

進捗状況：令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき桃花台汚水中継ポンプ場の更新工事を実施します。計画では令和6年度から工事に着手する予定でしたが、耐震診断が必要になったため、着手が遅れてしまい、計画目標は達成できませんでしたが、令和7年度以降も新たな計画を策定し、令和10年度までには工事を完了する予定です。

	事業費・目標指標	現況(R6末)	計画事業費・目標値	
			中間(R4末)	最終(R6末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	120百万円	—	248百万円
2	ストックマネジメント計画の策定率	100%	100%	100%
3	桃花台汚水中継ポンプ場工事進捗率	0%	0%	46%